

船井情報科学振興財団

第三回留学報告書

林 佑明

June 2018

こんにちは、カーネギーメロン大学の言語科学研究所で博士課程 1 年目の林です。1 年目が終わり、授業で賑わっていた大学は閑散としています。今回は主に生活面での出来事 (と少しの知見) を共有したいと思います。

1 研究と TA

1 月から 5 月までにわたる春学期では、昨年の秋学期から続けていたプロジェクトの続きと、自分の指導教官の授業の TA を行いました。プロジェクトの期間の長さからも察せるように、1 年目に取り組んだ研究はなかなか成果が出ず苦労しました。その中で最も助けになったのは友人との討論でした。きっと誰にでも当てはまることですが、1 人で考えたアイデアよりも他人にフィードバックをもらって修正すればほぼ間違いなくそのアイデアの質が良くなると思います。実際私の分野でトップ会議に採択される論文の多くは、自分 + 共著の同期・先輩 + 指導教官といった組み合わせが多い印象を受けます。このようなことから推察されるように、自分の所属先の学生や研究者に積極的に意見や質問、アイデアをぶつけて洗練させることがより良い研究テーマへの最短経路だと感じました。

今学期、こちらに来てから初めて TA として授業の手伝いをしました。授業のスタイルは、よく日本で見受けられるいくつかの宿題と期末テストではなく、学期を通して 1 つのプロジェクトにチームで取り組み、期末までに論文の体裁でレポートを書くというものでした。それはさらに大まかに 3 つにステージが別れていて、まずプロジェクトテーマ周辺のサーベイと簡単なモデルによる実験、次にテーマ内で現在最も優れているモデルを再実装し過去研究を再現、最後に自分たちの提案手法を実装・比較、レポートにまとめます。そういうわけで、自分と同じ立場の学生たちの提案手法や各ステージでのレポートを多く読む機会がありました。立場上 TA としてそれらにフィードバックをしなければならないので、この仕事を通して、多くのレポートを読んで評価する review の経験を積むことができ非常に有意義でした。また、いくつかのプロジェクトが学期後に国際会議にバンバン投稿されているのを目の当たりにして、普段の研究とは別に、授業に取り組む時間も無駄にせず論文にしようという態度をもっと見習おうと思いました。

2 生活

2.1 鼠事件

がらっと話が変わりますが、みなさまはネズミと聞くと、ハムスターやモルモットといったペットのほうのネズミを想像する事が多いと思います。実際、汚い場所に行っていなかったからだけかもしれませんが、少なくとも私は上記のような印象をネズミに対して持っていました。ある日、私が友人のオフィスを通り過ぎるとそこには、椅子から立ち上がり、レクリエーション用のテニスラケットを振り回し、壁や机やタンスを蹴り続ける友人の姿がありました。そうです、どうやらネズミがドアと床の小さな隙間から入り込んだようでした。このような飼われていないネズミは、聞くところによると大変危険なのです。まず、どんな病原菌やウイルスを持っているかわかりません。そして、オフィス内にいつでもドアから侵入できるということは、夜などの留守中に机上やキーボードの上などあらゆる表面を歩きまわっている可能性があるということです。

さらに残念なことに、私自身のオフィスへのドアも、床との隙間が大きく広がっていたのです。スナックのために持ち込んだ保存食品は食べる気がしないのですぐに捨て去り、アルコール除菌ワイプで隅々まで拭き取り、最後にたまたま持っていたダンボールでドア下にバリケードを設置し、一件着きました。みなさんも、明らかにペットじゃないネズミを見たら絶対に餌やろうなどと考えず、追い出して部屋を消毒しましょう。

2.2 引越

さて去年も引っ越しましたが、今年もまた引っ越しをすることになりました。アメリカで引越となると、お手頃なのはやはり U-HAUL に代表される DIY 系引越だと思えます。日本は〇〇引越センターのような、業者が来て搬入、運搬、搬出をすべてしてくれるサービスがほとんどだと思えますが¹、ベーシックな DIY 系引越だと、トラックを借りてきて、すべての作業を自分で行います。人手を雇うのは別売パッケージになっていて、それも合わせて購入すれば、搬入と搬出を手伝ってもらえます。しかし、あくまで運搬は自分で行わなければならないという辛さがあります。もちろん、アメリカにも日本の業者のような最初から最後までやってくれるサービスはあるようですが、割高なため学生には厳しいでしょう。

もう一つユニークな形態の引越²があります。この場合搬入搬出は自ら行い、運搬は業者に任せます。具体的には、まず指定した日に家の前等にコンテナが置かれ、好きなだけ時間をかけて搬入を行います。この間、もしコンテナが置かれた先が通りだった場合、当然各州ごとの駐車許可を取る必要がありますが、私有地があるなら場所代はかかりません。搬入が終わったら、別の指定日までに業者が家に立ち寄り、コンテナを持って行って今度は引越先に放置します。そこで好きなペースで搬出し、最後に業者にコンテナを持って帰らせて終わり、といった手順です。コンテナをおいておく場所さえ確保

¹違っていたらごめんなさい。

²PODS, UPack などで検索。

できれば、急がずに搬入搬出ができるのがメリットと言われており、なおかつ値段も抑えられているそうです。ただ、いざコンテナが道路に傷を付けてしまった場合の罰金などのリスクもあるそうです。

結論は、体力があれば DIY 系が早くて安くてすぐ済む、というわけで、一刻も早くこちらの運転免許証を取ることにします。